北海道地方

名前

問1　北海道の沿岸部に位置する各都市と、それらが面している海域の名称の組み合わせとして、地理的な位置関係が正しいものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 小樽市は太平洋に面しており、網走市は日本海に面している。
2. 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。
3. 小樽市は日本海に面しており、網走市は東シナ海に面している。
4. 小樽市はオホーツク海に面しており、網走市は日本海に面している。

問2　北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため
2. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため
3. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため
4. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため

問3　北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、１２月から３月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
2. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
3. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
4. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため

問4　北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。
2. 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。
3. 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。
4. もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。

問5　積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）

1. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。
2. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。
3. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。
4. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。

問6　日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 世界貿易機関
2. ユネスコ
3. 国連児童基金
4. 東南アジア諸国連合

問7　北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 西側に十勝平野、東側に石狩平野
2. 西側に石狩平野、東側に根釧台地
3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野
4. 西側に石狩平野、東側に十勝平野

問8　日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。
2. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。
3. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。
4. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。

問9　石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う
2. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする
3. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する
4. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる

問10　北海道の太平洋沿岸部において、夏に発生する濃い霧（海霧）の発生メカニズムについて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。
2. 南東から吹く乾いた季節風が、寒流であるリマン海流によって冷やされるため。
3. 北西から吹く冷たい季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められるため。
4. 北西から吹く湿った季節風が、暖流である対馬海流によって温められるため。

問11　北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため
2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため
3. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため
4. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため

問12　北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 促成栽培の普及
2. 農業生産性の向上
3. 自給足率の低下
4. 耕作放棄地の拡大

答え合わせ・解説

問1	答え 2 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。	北海道は周囲を複数の海域に囲まれています。西側の石狩湾に面した小樽市は日本海側に位置し、歴史的に北前船の寄港地としても発展しました。一方、北海道の北東部に位置する網走市は、冬に流氷が接岸することで知られるオホーツク海に面しています。太平洋は北海道の南側から東側にかけて広がっています。
問2	答え 2 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため	北海道は、一戸あたりの経営面積が大きく、大規模な機械化農業が行われているのが特徴です。米の栽培面積そのものは日本最大級ですが、それ以上に、冷涼な気候を活かした小麦、大豆、てんさい、じゃがいもなどの畑作や、広大な土地を利用した酪農も非常に大規模に展開されています。そのため、農業全体で見ると「米以外の作物」の占める割合が大きく、米の単作傾向が強い東北地方の各県に比べて、全耕作面積に対する米の比率は相対的に低くなります。このように、多様な作物を組み合わせた大規模な農業経営が行われていることが北海道の大きな特色です。
問3	答え 4 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問4	答え 3 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。	北海道の重工業は、室蘭周辺の炭田や鉱山といった「原料供給地」に近いという立地条件を活かして発展しました。しかし、国内の炭鉱が閉山し、鉄鉱石も輸入に頼るようになったことで、単純な素材生産だけでなく、自動車産業向けの特殊鋼など、高度な技術を要する分野へと生産内容をシフトさせて生き残りを図っています。製造品出荷額で見ても、鉄鋼業（約3954億円）は造船業（約310億円）を大きく上回る規模を維持しています。
問5	答え 3 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。	積雪寒冷地における交通の安全を確保するための工夫を問う問題です。地面に設置する通常の反射板や白線だけでは、深い積雪や激しい吹雪（地吹雪）の際に視認できなくなります。固定式の標識を高い位置から吊るすように設置することで、雪の影響を受けずに「ここから先は路肩である」という情報を運転者に提供しています。
問6	答え 2 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 4 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問8	答え 3 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	生乳の利用形態と産地の関係は、消費地との距離と「鮮度」の関係で説明される。北海道は日本の生乳生産の大部分を担っているが、東京などの大消費地から距離があるため、輸送中に鮮度が落ちやすい飲用牛乳としての出荷には不利な側面がある。そのため、北海道では生乳をバターやチーズといった保存のきく乳製品に加工してから全国へ流通させている。これに対し、千葉県や神奈川県などの大都市近郊では、輸送距離の短さを活かし、鮮度が求められる飲用牛乳の供給に特化した酪農が行われている。
問9	答え 1 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う	石狩川流域に広がる泥炭地は、水分が非常に多く農業には適さない土地でした。そのため、開拓にあたっては排水路を設けて湿地の水を抜くだけでなく、他の場所から性質の異なる土を運び入れる「客土（かくど）」という作業が行われました。これにより、もともとの泥炭地は稲作などが可能な広大な農地や、人々が暮らす市街地へと作り替えられました。
問10	答え 1 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。	日本の夏は、太平洋側の小笠原気団から南東の季節風が吹き込みます。この湿った空気が、北海道の東側の太平洋沿岸を流れる冷たい寒流「親潮（千島海流）」の上を通る際、急激に冷やされることで空気中の水蒸気が水滴に変わり、濃い霧が発生します。冬の北西季節風や、暖流である黒潮・対馬海流とは発生条件が異なります。
問11	答え 4 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。
問12	答え 2 農業生産性の向上	限られた土地からより多くの農産物を得られるようになることは、農業における「生産性の向上」を意味します。北海道では、大規模な農地を活かした機械化や、寒冷な気候に対応した育種技術の確立によって、少ない面積でも効率よく収穫を得る体制が整えられてきました。これは単なる面積の増減ではなく、技術的な進歩を指す重要な概念です。